

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 ロンシー工業株式会社
 コード番号 4224 URL <http://www.lonseal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部部長 (氏名) 江口 幸治
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 029-832-8805

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,953	—	49	—	59	—	132	—
20年3月期第1四半期	4,882	△5.6	△81	—	△84	—	△66	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	2.76	—
20年3月期第1四半期	△1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	20,863	7,865	7,865	37.6	163.17	
20年3月期	21,259	7,774	7,774	36.5	161.30	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,845百万円 20年3月期 7,756百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	—	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	10,700	—	210	—	90	—	130	—	2.69
通期	22,200	3.2	610	—	400	—	280	—	5.80

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 48,253,094株 20年3月期 48,253,094株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 169,649株 20年3月期 167,596株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 48,084,373株 20年3月期第1四半期 48,095,310株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱や、原油価格の高騰による素材価格の値上り等により企業の景況感が悪化するとともに、生活必需品の値上げにより個人消費にも翳りが見られるなど先行きに不透明感が増しております。

建設業界及び合成樹脂加工業界におきましては、需要の伸び悩みと販売競争の激化、原材料価格の値上り等により引き続き厳しい状況が続いております。

当社グループはこのような状況の下、販売価格是正に取り組むとともに営業力の強化と積極的な販売活動に努めてまいりましたが、当第1四半期の売上高は、49億53百万円（前年同期比1.4%増）にとどまりました。

損益面につきましては、当連結期においても徹底したコストダウン及び諸経費の削減などの諸施策を実施してまいりましたが、原材料価格の値上げ等により、営業利益は49百万円（前年同期営業損失81百万円）、経常利益は59百万円（前年同期経常損失84百万円）となりました。

また、米国カリフォルニア州ロサンゼルス土地売却益により四半期純利益は1億32百万円（前年同期四半期純損失66百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より3億96百万円減少し、208億63百万円となりました。その主な原因といたしましては、土地の売却により2億11百万円減少したことによるものです。

負債の部では、前連結会計年度末より4億87百万円減少し、129億97百万円となりました。その主な原因といたしましては、未払金が3億34百万円減少したことによるものです。

純資産の部では、前連結会計年度末より91百万円増加し、78億65百万円となりました。その主な原因といたしましては、利益剰余金が1億32百万円増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

重要性の乏しい連結子会社の税金費用については、前連結会計年度の税効果会計適用後の法人税等の負担率を算定し、税引前四半期純利益に当該負担率を乗じて計算しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理から通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上することにしております。

また、リース資産の減価償却方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

③役員退職慰労引当金

当社は、平成20年6月27日開催の定時株主総会において、取締役および監査役の退職慰労金制度廃止に伴う打切支給案を決議しており、それに伴う当該決議以前から在籍している役員に対する支給予定額56百万円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,949	1,445
受取手形及び売掛金	6,268	6,959
商品	1,159	1,164
製品	1,543	1,284
半製品	64	67
原材料	474	449
仕掛品	65	70
その他	524	574
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	12,035	11,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,611	9,611
機械装置及び運搬具	11,427	11,009
工具、器具及び備品	3,498	3,490
土地	2,434	2,645
建設仮勘定	95	463
減価償却累計額	△19,698	△19,501
有形固定資産合計	7,368	7,719
無形固定資産		
その他	131	141
無形固定資産合計	131	141
投資その他の資産		
その他	1,370	1,444
貸倒引当金	△43	△45
投資その他の資産合計	1,327	1,399
固定資産合計	8,828	9,260
資産合計	20,863	21,259

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,674	4,962
短期借入金	2,456	2,314
未払金	939	1,273
未払法人税等	41	50
賞与引当金	276	200
その他	608	556
流動負債合計	8,996	9,358
固定負債		
長期借入金	1,379	1,436
長期預り保証金	2,103	2,170
退職給付引当金	128	129
役員退職慰労引当金	5	66
その他	384	323
固定負債合計	4,001	4,126
負債合計	12,997	13,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,007	5,007
資本剰余金	4,120	4,120
利益剰余金	△1,178	△1,311
自己株式	△25	△25
株主資本合計	7,924	7,792
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	1
為替換算調整勘定	△91	△37
評価・換算差額等合計	△78	△35
少数株主持分	19	18
純資産合計	7,865	7,774
負債純資産合計	20,863	21,259

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	4,953
売上原価	3,490
売上総利益	1,462
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	370
その他	1,043
販売費及び一般管理費合計	1,413
営業利益	49
営業外収益	
為替差益	35
その他	28
営業外収益合計	63
営業外費用	
支払利息	27
退職給付費用	22
その他	3
営業外費用合計	53
経常利益	59
特別利益	
固定資産売却益	169
その他	2
特別利益合計	172
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	231
法人税、住民税及び事業税	63
法人税等調整額	31
法人税等合計	94
少数株主利益	4
四半期純利益	132

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)
該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社は、平成20年7月31日の取締役会において食品容器用シート生産設備を売却することを決議しました。これに伴い、約55百万円の売却損の発生が見込まれております。

「参考」

(要約) 前四半期連結損益計算書

	前年同四半期 連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額(百万円)
I 売上高	4,882
II 売上原価	3,445
売上総利益	1,437
III 販売費及び一般管理費	1,518
営業損失	81
IV 営業外収益	53
V 営業外費用	56
経常損失	84
VI 特別利益	0
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純損失	84
税金費用	△ 21
少数株主利益	3
四半期純損失	66